

令和7年度 清風園就労支援施設 地域連携推進会議 議事録

1 開催日時

令和7年12月9日（火）14：00～15：30

2 場所

清風園 管理給食棟、就労支援棟及び作業棟

3 出席者

(1) 地域連携推進員

ア 利用者 内藤 ヤヘ子 様

イ 利用者家族 田 野 道 明 様

ウ 地域の関係者 横須賀 好市 様（さくら市立氏家中学校長）

エ 地域の関係者 岡 本 廣 子 様（苦情解決第三者委員・民生委員）

オ 市町担当者 林 栄実里 様（さくら市健康福祉部福祉課）

(2) 事務局

ア 根本真理子（清風園長）

イ 鮎澤 美雪（清風園副園長兼総務企画係長）

ウ 大島 弘美（清風園相談援助係長）

エ 我妻 洋一（清風園就労支援係長）

4 内容

(1) 鮎澤清風園副園長兼総務企画係長（以下「鮎澤副園長」という。）が進行役となり、開会を宣言した。

(2) 根本清風園長があいさつをし、出席者が自己紹介をした。

(3) 議事について、事務局が説明をし、質問等を求めたが、特に質問等はなかった。

(4) 議事の(1)「清風園就労支援施設の概要について」の説明の後、我妻清風園就労支援係長の案内により、施設見学を行った。

(5) 意見交換を行った。地域連携推進員からの主な意見は次のとおり。

ア 丁寧な対応をしてもらっていると思う。地域連携の在り方について、長いスパンで考えると、今後考えもらいたいのは、市の社協とのかかわりである。どちらかと言えば、社協の取り組みは高齢者や貧困者に偏っているように感じるので、社協への啓発も含めて、取り組みを考えていって欲しい。

イ 地域の中学校としてどんな連携ができるのか考えている。生徒には、ボランティア活動にどんどん取り組むよう話している。商工まつり、暮れ市、納涼祭などに参加しているが、どうやって特色ある活動をさせるか、人のために汗を流せる子どもになって欲しい。今年は、多くの生徒が教育委員会の生涯学習課に自らアクセスして取り組んでいる。スタッフの手伝い、例えばテントを立てる、電線をつなぐなど、裏方の仕事をし、大人の大変さを体験して欲しいと思っている。施設内のそのような活動に、生徒を使ってもらってもいいと思う。

ウ 実際に施設を見学して、改めて考えるきっかけになった。自分でできることは自分でやりたい、社会の役に立ちたい、と利用者の方が思っていることを、職員が感じながらやっているのが分かってうれしく思った。

エ 障害の重い方の受入れや、送迎をしてもらえるのがありがたい。利用者の方も、活発に動いている印象で、明るい感じを受けた。地域の課題としては、お風呂が家庭で入れなくて困っているという声を聴く。

オ 利用者個人にあわせた支援をしてもらっている。嫌なことがあったときは、職員に言ってスムーズに解決してもらい、感謝している。

- (6) 根本清風園長から、様々な意見をいただいたことへの謝辞があった。また、いただいた意見をもとに、生徒さんたちをはじめボランティアの受入れや、清風園が地域のためにどのような取り組みができるか、考えていきたい、との発言があった。

## 5 鮎澤副園長が閉会を宣言した。

令和7年12月9日

議事録作成者 清風園副園長兼総務企画係長 鮎澤美雪